

昨年の第5回大会から1年の時を経て、第6回全日本学生フォーミュラ大会がいよいよ本日開幕しました。今年の大会には過去最高となる77チーム(前年より16チーム増)からエントリーがあり、レポート審査による選抜を経て、海外からの7チームを含む65チームがECOPA(静岡県)に集っています。65チームのうち日本勢6チームが初参加、また海外からは4チームが初参加となります。例年時節柄台風にも悩まされる本大会ですが、天気予報によれば週末の大会最終日まで雨の可能性は少なく、順調な進行が期待できそうです。

参加チームの技術力や完成度が年々増していくのに比例して、大会の運営も年々進化しています。ECOPAでの開催が3年目となり、動的競技の会場が拡大され、より安全になったほか、スケジュール面では例年、受付のみ行われていた火曜日(昨日)、すでに車検(技術検査)が開始されています。また、コースレイアウトも事前に発表されました。メディアの注目も高く、多くのプレスの来場が予定されており、4日間にわたる学生たちのハイレベルな戦いが期待されます。



9月10日朝7:40 現在受付済みチーム: 46チーム

昨日(9月9日火曜日)の様子

◆受付

会場に到着したチームから順次受付を済ませました。海外から参加のチームも滞りなく受付を済ませ、昨日終了時点で65チーム中42チームが受付を終えました。

◆車検(技術検査)

車両がレギュレーションに定められている安全・設計上の要件を満たしているか検査する技術検査が行われました。車検の他の項目(ブレーキ、騒音、チルトの3項目)は本日より行われます。

9月10日朝7:40 現在車検通過チーム: 11チーム

◆キャプテンミーティング

各チームのキャプテンとFA(ファカルティアドバイザ)を集め、大会全般にわたる諸注意が伝達されました。今年は諸注意や各種情報がまとめられたハンドブックが支給され、効率のよいミーティングとなりました。

一方で、ファカルティアドバイザ不在のチームには厳しい注意がなされました。



今日はいよいよ大会本番がスタートします。天気は快晴！朝一番でドライバーズミーティングが行われました。